

## 道路課

- 新規評価箇所検討一覧表 (BBB 評価以上) …P1
- 新規事業概要
  - ・ 道路整備事業 …P3
- 公共事業新規評価調書 (整備系) …P5



番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	総事業費 (百万円)	公 ・ 車 単	完成 予定 年度	重要施策との関連性 (他事業との関連含む)	新規評価に至った経緯
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置づけ	必要性・効果	実施環境						
1	道路	広域	道路整備事業	国道204号 (松島工区)	伊万里市		木須町~ 二里町	現道拡幅 L=800m	A	A	A	I	600	公	R7	西九州道路 伊万里中央IC (仮称) のアークセ ス道路	西九州道路 伊万里中央IC (仮称) に併せた整備のため
2	道路	生活関連	道路整備事業	江上光法停車場線 (榎田宿工区)	佐賀市		北川副町 江上	歩道整備 L=30m	A	A	A	I	52	公	R6	-	地元要望による。 通学路点検の要対策箇所位置付け。
3	道路	生活関連	道路整備事業	大詫間光法停車場線 (山領工区)	佐賀市	諸富町	山領	歩道整備 L=500m	A	B	A	I	416	公	R9	-	地元要望による。 通学路点検の要対策箇所位置付け。



# 道路整備事業

県土整備部 道路課

## 道路整備事業(広域)※高規格道路とは...

### 事業の目的

交通混雑の緩和や緊急輸送道路としての機能確保のほか、広域的な地域間の連携強化及び交流促進による地域の発展に寄与する交通環境の創出を図る。



### ○整備事例(有明沿岸道路)



佐賀福富道路(芦刈南IC~福富IC) R3.7.24開通

# 道路整備事業(広域)※ICアクセスとは...

## 事業の目的

高規格道路の整備と一体的にアクセス道路を整備することで交通・物流拠点から高規格道路へのアクセス性を高め、円滑な交通環境の創出を図る。

○整備事例(小城スマートIC\_H30.3.31開通)



# 道路整備事業(交通安全)とは...

## 事業の目的

歩道整備や交差点改良を行うことで、歩行者・自転車利用者の安全性の向上及び交通の円滑化を図る。

○整備前



○整備後



公共事業新規評価調書（整備系）

（様式3）

部 名	県土整備部	記入	道路課	課 長	栞原隆浩
		責任者	伊万里土木事務所	所 長	鳥井雪広

事業区分等	事業名	地区名等	総事業費
整備系 道路事業(広域)	改築事業(2次改築)	一般国道 204号 (松島工区)	600百万円 (事務費抜き)

事業地		着手予定年度	完成予定年度
伊万里 市	木須町～二里町八谷搦 地内	令和 5 年度	令和 7 年度

事業目的	事業内容
<p>当該道路は、西九州自動車道(伊万里中央IC(仮称))へのアクセス道路として港湾物流機能を担い、生活・産業・観光面にわたって多様な役割を果たしている。</p> <p>当該道路を4車線化することで渋滞を回避し、伊万里中央IC(仮称)への流入・流出する交通を円滑に処理することで、高規格道路と伊万里港との連携による更なる物流の効率化や、伊万里市街と西九州自動車道の沿線都市間(唐津市、福岡市、等)の交流促進を目的とする。</p>	<p>○事業延長 L= 800 m</p> <p>○道路規格 第 4 種 第 1 級</p> <p>○道路幅員 W= 15.00 (25.00) m</p> <p>○歩道幅員 W= 4.50 m [ 両 側 ]</p> <p>○路肩幅員 W= 0.50 m</p> <p>※ 道路幅員は中央帯を含む。</p>

評価視点	評価内容	評価
(1)位置付け	<p>○各部の施策に関する方針等 県土整備部の施策に関する方針等に位置付けられている <u>10/10点</u></p> <p>【施策名】 広域幹線道路ネットワークの整備</p> <p>○佐賀県新広域道路交通計画 当該計画の佐賀県将来道路ネットワーク計画に位置付けされた道路 <u>50/50点</u></p> <p>【対象計画】 物流ネットワーク</p> <p>○緊急輸送道路、観光ルート、大型プロジェクト 主要プロジェクト関連 <u>40/40点</u></p> <p>※ 西九州自動車道(伊万里中央IC(仮称))関連</p>	A (100点)
(2)必要性・効果	<p>○費用対効果(B/C) 3.1 [ 2.0 以上 ] <u>60/60点</u></p> <p>○交通混雑 2.00 [ 2.00 以上～ ] <u>20/20点</u></p> <p>○道路構造令との整合 道路構造令の基準から大きく逸脱しており、危険である <u>20/20点</u></p> <p>※ 西九州自動車道(伊万里中央IC(仮称))供用後は交通量が増加する見込みである。</p>	A (100点)
(3)実施環境	<p>○期成会、協議会の状況 期成会、協議会が設立されるなど計画に対して熱心で、地元に対しての取り組みが積極的である <u>60/60点</u></p> <p>※ 国道204号線の整備促進期成会</p> <p>○沿線住民の合意状況 計画に対して協力的で、用地買収のための調整が図られている <u>40/40点</u></p> <p>※ 道路拡幅に必要な用地は既にも買収済である。</p>	A (100点)

評価	A A A	条件等
判定	I	
方針	優先的に事業を実施	

## 定性評価調書

### ○自然環境保全

内 容
○ 現道拡幅のため、現道沿い以外には用地を必要とせず、自然環境保全の観点から特に問題ない。

※ 動植物の保護、農地の保全、地山・山間地の保全、水辺函渠の保全等に配慮している事項について、工夫、対策、留意事項を記載

### ○生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的な縮減策を記載

### ○特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載



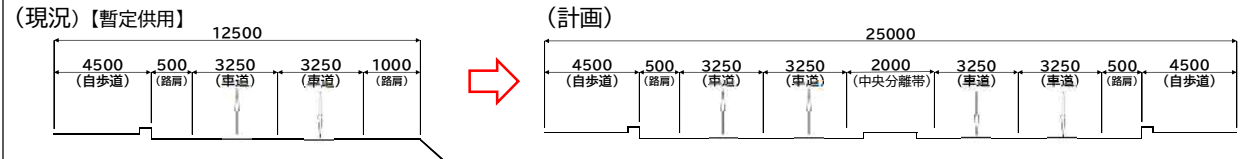
(国) 204号(松島工区) 【整備系】道路事業(広域)



1

(国) 204号(松島工区) 【整備系】道路整備(広域) [伊万里市木須町~二里町]

【整備の必要性】西九州自動車道 伊万里中央IC(仮称)の供用に伴い、交通量の増加が見込まれるため、現道拡幅(2車線→4車線化)することにより、西九州自動車道へのアクセス性を高め、更なる物流の効率化や交通の円滑化を図る。



【事業概要】  
 工期：R5~R7(3ヶ年) 総事業費：6億円  
 整備内容：現道拡幅(2車線→4車線) 延長：L=800m 幅員：W=15.0(25.0)m

7

2

## 公共事業新規評価調書（整備系）

部 名	県土整備部	記入 責任者	道路課 佐賀土木事務所	課 長 所 長	栗原隆浩 川口孝司		
事業区分等	整備系 道路事業(生活関連)	事業名	交通安全事業 (歩道設置)	地区名等	一般県道 江上光法停車場線 (増田宿工区)	総事業費	52百万円 (事務費込み)
事業地	佐賀市	北川副町江上	地内	着手予定年度	令和5年度	完成予定年度	令和6年度
事業目的				事業内容			
<p>当該路線は、佐賀市北川副町江上地区から一般国道208号へ至る道路である。</p> <p>当該区間は、佐賀市北川副小学校の通学路となっており、沿線にある龍谷高校グラウンドを利用する学生も多い状況となっているが、前後区間は整備されているものの、当該区間のみ歩道が未整備となっている。</p> <p>また、大川佐賀道路の諸富ICへのアクセス道路となり、更なる交通量の増加が見込まれることから、歩道を設置し、通学児童の安全を確保することを目的とする。</p>				<p>○事業延長 L= 30 m</p> <p>○道路規格 第3種第2級</p> <p>○道路幅員 W= 6.50 (14.00) m</p> <p>○歩道幅員 W= 3.00 m [両側]</p> <p>○路肩幅員 W= 0.75 m</p> <p>W= m</p> <p>※ 区間の前後は歩道整備済み。</p>			
評価視点	評価内容					評価	
(1)位置付け	<p>○各部の施策に関する方針等 県土整備部の施策に関する方針等に位置付けられている <u>10/10点</u></p> <p>【施策名】 道路の交通安全対策</p> <p>○点検計画 通学路 <u>50/50点</u></p> <p>※ 北川副小学校</p> <p>○緊急輸送道路又は観光ルート 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 <u>20/20点</u></p> <p>※ 佐賀大川線と三重津海軍所跡地を結ぶ道路</p> <p>○プロジェクト等 該当なし <u>0/20点</u></p>					A (80点)	
(2)必要性・効果	<p>○交通量(自転車歩行者) 201人台/日 [ 100人台/日以上 ] <u>60/60点</u></p> <p>○交通事故(近年(3ヶ年)の事故件数) 0件 [ ~ 3件以下 ] <u>5/20点</u></p> <p>○歩道の状況 歩道無し、段差勾配要改善 <u>20/20点</u></p> <p>※ 歩道無し→自歩道3.0m</p>					A (85点)	
(3)実施環境	<p>○沿線住民の合意 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている <u>50/60点</u></p> <p>※ 地元地権者から計画の了解を得ている。</p> <p>○集落施設、沿道土地利用 ● 対象事業から半径約1km以内の沿道施設状況による評価 下記の沿道施設が3以上存在する <u>40/40点</u></p> <p>① [バス路線] ② [福祉施設] ③ [高校]</p> <p>【施設名】 佐賀市営バス デイサービス円花 龍谷高校グラウンド</p>					A (90点)	
評価	A A A		条件等				
判定	I						
方針	優先的に事業を実施						

## 定性評価調書

### ○自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、地山・山間地の保全、水辺函渠の保全等に配慮している事項について、工夫、対策、留意事項を記載

### ○生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的な縮減策を記載

### ○特記事項

内 容
○

※ 特に記述することがあれば記載

(一) 江上光法停車場線 (増田宿工区) 【整備系】交通安全



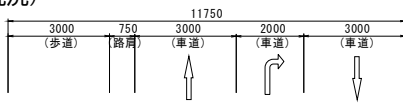
1

(一) 江上光法停車場線 (増田宿工区) 【整備系】交通安全 [佐賀市北川副町江上]

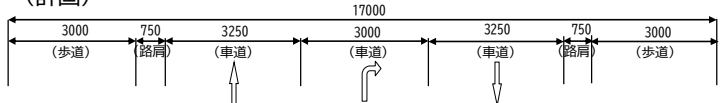
【整備の必要性】 当該区間は通学路となっているが、この区間のみ片側歩道となっていることから、歩道を整備し、歩行者等の安全性の向上を図る。



(現況)



(計画)



【事業概要】

工期：R5～R6（2ヶ年） 総事業費：52百万円  
 整備内容：交差点改良・歩道整備 延長：L=30m 幅員：W=9.5（17.0）m  
 通学路：北川副小学校

2

## 公共事業新規評価調書(整備系)

部名	県土整備部	記入 責任者	道路課 佐賀土木事務所	課長 所長	栗原隆浩 川口孝司		
事業区分等	整備系 道路事業(生活関連)	事業名	交通安全事業 (歩道設置)	地区名等	一般県道 大詫間光法停車場線 (山領工区)	総事業費	416百万円 (事務費込み)
事業地				着手予定年度	完成予定年度		
佐賀市		諸富町山領 地内		令和5年度	令和9年度		
事業目的				事業内容			
<p>当該路線は、佐賀市川副町大詫間地区から一般国道208号へ至る道路であり、佐賀市南東部と佐賀市街地を結び、また、県中部と福岡県南西部を結ぶ重要な路線である。</p> <p>当該区間は、佐賀市諸富南小学校の通学路として利用したいとの意向があるが、歩道が無いため通学児童は歩道の無い狭小な市道を利用している状況である。</p> <p>また、大川佐賀道路の諸富ICへのアクセス道路となり、更なる交通量の増加が見込まれることから、歩道を設置し、通学児童の安全を確保することを目的とする。</p>				<p>○事業延長 L= 500 m</p> <p>○道路規格 第3種第2級</p> <p>○道路幅員 W= 6.50 (10.50) m</p> <p>○歩道幅員 W= 2.50 m [片側]</p> <p>○路肩幅員 歩道側 W= 0.75 m</p> <p>○ " 路肩側 W= 0.75 m</p> <p>※</p>			
評価視点	評価内容					評価	
(1)位置付け	<p>○各部の施策に関する方針等 県土整備部の施策に関する方針等に位置付けられている <u>10/10点</u></p> <p>【施策名】 道路の交通安全対策</p> <p>○点検計画 通学路 <u>50/50点</u></p> <p>※ 諸富南小学校</p> <p>○緊急輸送道路又は観光ルート 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 <u>20/20点</u></p> <p>※ 国道208号と三重津海軍所跡地を結ぶ道路</p> <p>○プロジェクト等 該当なし <u>0/20点</u></p>					A (80点)	
(2)必要性・効果	<p>○交通量(自転車歩行者) 78人台/日 [ 40 ~ 100人台/日未満 ] <u>30/60点</u></p> <p>○交通事故(近年(3ヶ年)の事故件数) 4件 [ 4 ~ 6件以下 ] <u>10/20点</u></p> <p>○歩道の状況 歩道無し、段差勾配要改善 <u>20/20点</u></p> <p>※ 歩道無し→自歩道2.5m</p>					B (60点)	
(3)実施環境	<p>○沿線住民の合意 計画に対して協力的である <u>40/60点</u></p> <p>※ 要望書あり</p> <p>○集落施設、沿道土地利用 ● 対象事業から半径約1km以内の沿道施設状況による評価 下記の沿道施設が3以上存在する <u>40/40点</u></p> <p>① [集会場] ② [福祉施設] ③ [福祉施設]</p> <p>【施設名】 福田公民館 老人ホームつぼみ会 グループホーム楠の木園</p>					A (80点)	
評価	A B A	条件等					
判定	I						
方針	優先的に事業を実施						

## 定性評価調書

### ○自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、地山・山間地の保全、水辺函渠の保全等に配慮している事項について、工夫、対策、留意事項を記載

### ○生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的な縮減策を記載

### ○特記事項

内 容
○

※ 特に記述することがあれば記載

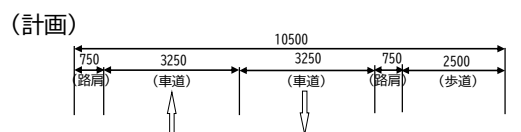
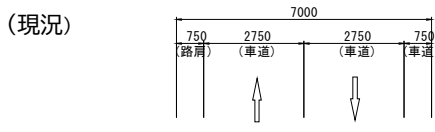
(一) 大詫間光法停車場線 (山領工区) 【整備系】交通安全



1

(一) 大詫間光法停車場線 (山領工区) 【整備系】交通安全 [佐賀市諸富町山領]

【整備の必要性】 当該区間は、歩道が未整備となっており、児童等は狭小な道路へ迂回し、通学していることから、歩道を整備し、歩行者等の安全性の向上を図る。



【事業概要】

工期：R5～R9 (5ヶ年) 総事業費：416百万円  
 整備内容：歩道整備 延長：L=500m 幅員：W=6.5 (10.5)m  
 通学路：諸富南小学校

2

新規評価箇所総括表【二次評価に至らなかったもの】

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価		判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置づけ	実施環境 必要性・効果		
1	道路	生活関連	道路整備事業	中原三瀬線 (中瀬)	佐賀市	三瀬村	藤原	道路改良 L=900m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
2	道路	生活関連	道路整備事業	川上牛津線	佐賀市	大和町	久留間	道路改良 L=500m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
3	道路	生活関連	道路整備事業	前原富士線	佐賀市	富士町	上無津呂	道路改良 L=1,200m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
4	道路	生活関連	道路整備事業	佐賀外環状線 (尼寺南小路)	佐賀市	大和町	尼寺	交差点改良 L=290m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
5	道路	生活関連	道路整備事業	佐賀外環状線	佐賀市	川副町	南里	自歩道整備 L=930m 交差点改良 N=2箇所	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
6	道路	生活関連	道路整備事業	国道444号	佐賀市	川副町	小々森	自歩道整備 L=340m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
7	道路	生活関連	道路整備事業	国道263号	佐賀市	三瀬村	杠	自歩道整備 L=100m				用地難航箇所であるため。
8	道路	生活関連	道路整備事業	多久若木線	多久市	多久町	多久公民館西	歩道整備 L=550m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
9	道路	生活関連	道路整備事業	多久若木線	多久市	多久町	下鶴	現道拡幅、歩道整備 L=1500m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
10	道路	生活関連	道路整備事業	多久牛津線 (古賀)	多久市	東多久町	別府	歩道整備 L=800m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。



新規評価箇所総括表【二次評価に至らなかったもの】

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価		判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置づけ	実施環境 必要性・効果		
11	道路	生活関連	道路整備事業	岸川筋原線	多久市	北多久町	小侍	道路改良 L=500m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
12	道路	生活関連	道路整備事業	杉山小城線 (岩蔵上)	小城市	小城市	岩蔵	道路改良 L=450m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
13	道路	生活関連	道路整備事業	天山公園線	小城市	小城市	晴気	道路改良 L=600m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
14	道路	生活関連	道路整備事業	佐賀外環状線 (山嶺)	小城市	三日月町	金田	歩道整備 L=560m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
15	道路	生活関連	道路整備事業	国道207号 (本町)	小城市	牛津町	柿樋瀬	交差点改良 L=250m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
16	道路	生活関連	道路整備事業	佐賀川久保鳥栖線	鳥栖市		平田町・ 立石町	道路改良 L=1000m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
17	道路	生活関連	道路整備事業	中原鳥栖線	鳥栖市		儀徳町・ 江島町	道路改良 L=1600m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
18	道路	生活関連	道路整備事業	神埼北茂安線	上峰町		前牟田	道路改良 L=900m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
19	道路	生活関連	道路整備事業	坊所城島線	上峰町		江迎	歩道整備 L=1,800m (切通交差点～三根 庁舎)	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
20	道路	生活関連	道路整備事業	中原三瀬線	上峰町		切通	交差点改良	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。

新規評価箇所総括表【二次評価に至らなかったもの】

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価		判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置づけ	実施環境 必要性・効果		
21	道路	生活関連	道路整備事業	国道264号	みよき町	三根町	西島	歩道整備 L=800m (本分橋～掛塚交差点)	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
22	道路	生活関連	道路整備事業	国道264号	みよき町	三根町	西島	歩道整備 L=1,200m (掛塚交差点～諸富西島線交差点)	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
23	道路	生活関連	道路整備事業	国道264号	みよき町	三根町	西島	歩道整備 L=1,800m (六田交差点～続命院地区)	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
24	道路	生活関連	道路整備事業	中津隈原古賀線	みよき町	中原町	原古賀	交差点改良	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
25	道路	生活関連	道路整備事業	三瀬神埼線	神崎市	神埼町	的	歩道整備 L=1,400m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
26	道路	生活関連	道路整備事業	神埼北茂安線 (神埼・吉野ヶ里)	神崎市 吉野ヶ里 町	神埼町	本堀 豆田	道路改良 L=3,300m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
27	道路	生活関連	道路整備事業	吉野ヶ里公園線	吉野ヶ里 町		吉田	道路改良 L=1,700m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
28	道路	生活関連	道路整備事業	佐賀川久保鳥栖線 (畑刈)	吉野ヶ里 町		大曲	歩道整備、交差点改良 L=520m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
29	道路	生活関連	道路整備事業	北茂安三田川線	みよき町	北茂安町	中津隈	歩道整備 L=2400m (中津隈東区150m、 中津隈西区2250m)	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
30	道路	生活関連	道路整備事業	唐津呼子線	唐津市		唐房～鎮 西町岩野	道路改良 L=3,000m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。

新規評価箇所総括表【二次評価に至らなかったもの】

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価		判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置づけ	実施環境 必要性・効果		
31	道路	生活関連	道路整備事業	筒井万賀里川線	唐津市	肥前町	中浦	道路改良 L=920m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
32	道路	生活関連	道路整備事業	山崎町切線	唐津市	相知町	横枕	道路改良 L=465m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
33	道路	生活関連	道路整備事業	国道204号	唐津市	肥前町	古保志気	歩道整備 L=1,000m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
34	道路	生活関連	道路整備事業	国道204号	唐津市	肥前町	新木場	歩道整備 L=340m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
35	道路	生活関連	道路整備事業	国道204号	唐津市	肥前町	切木	歩道整備 L=230m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
36	道路	生活関連	道路整備事業	虹ノ松原線 (松浦橋)	唐津市		東町	交差点改良	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
37	道路	生活関連	道路整備事業	切後唐津線	唐津市		佐志中通	道路改良 L=550m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
38	道路	生活関連	道路整備事業	今村枝去木線	玄海町		今村	道路改良 L=2,000m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
39	道路	生活関連	道路整備事業	国道204号	玄海町		今村	歩道整備 L=1,560m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
40	道路	生活関連	道路整備事業	黒川松島線	伊万里市		奥野、 大黒川	道路改良 L=1,600m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。

新規評価箇所総括表【二次評価に至らなかったもの】

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価		判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置づけ	実施環境 必要性・効果		
41	道路	生活関連	道路整備事業	国道204号	伊万里市		波多津町法、 津、 津留(橋) 主屋	道路改良 L=1,400m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
42	道路	生活関連	道路整備事業	塩屋大曲線	伊万里市		黒川町 大黒川	道路改良 L=400m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
43	道路	生活関連	道路整備事業	塩屋大曲線	伊万里市		黒川町 大黒川	道路改良 (登坂車 線) L=1,100m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
44	道路	生活関連	道路整備事業	伊万里松浦線 (楠久津)	伊万里市		山代町 楠久津	道路改良 L=720m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
45	道路	生活関連	道路整備事業	伊万里松浦線	伊万里市	東山代町	大久保	道路改良 L=200m 待避所設置	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
46	道路	生活関連	道路整備事業	塩屋大曲線	伊万里市	黒川町	大黒川外	局部改築 N=7箇所	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
47	道路	生活関連	道路整備事業	山本波多津線	伊万里市		波多津町 津留、 主屋	道路改良 L=1,800m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
48	道路	生活関連	道路整備事業	八幡岳公園線	伊万里市		大川町 東田代	退避所設置 L=2,220m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
49	道路	生活関連	道路整備事業	国道204号 (鳴石)	伊万里市		山代町 峰	歩道整備 L=310m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
50	道路	生活関連	道路整備事業	国道204号 (辻)	伊万里市		波多津町 辻	歩道整備 L=1,600m	-	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。

新規評価箇所総括表【二次評価に至らなかったもの】

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価		判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置づけ	実施環境 必要性・効果		
51	道路	生活関連	道路整備事業	国道204号 (木須)	伊万里市		木須町	歩道整備 L=218m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
52	道路	生活関連	道路整備事業	大木有田線	有田町		本町	歩道整備 L=250m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
53	道路	生活関連	道路整備事業	大木有田線	有田町		広瀬	歩道整備 L=30m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
54	道路	生活関連	道路整備事業	相和山内線 (武内)	武雄市	武内町	真手野	道路改良 L=1,250m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
55	道路	生活関連	道路整備事業	武雄伊万里線	武雄市	武内町	真手野	道路改良 L=900m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
56	道路	生活関連	道路整備事業	国道207号(山口)	江北町		山口	交差点改良	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
57	道路	生活関連	道路整備事業	国道207号(辻)	鹿島市		音成	道路改良 L=960m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
58	道路	生活関連	道路整備事業	皿屋三河内線	鹿島市		三河内中 川内	道路改良 L=900m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
59	道路	生活関連	道路整備事業	国道207号 (北鹿島～浜)	鹿島市		納富分外	歩道整備 ΣL=1,600m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
60	道路	生活関連	道路整備事業	国道498号 (久間)	嬉野市	塩田町	久間	道路改良 L=850m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。

新規評価箇所総括表【二次評価に至らなかったもの】

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価		判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置づけ	実施環境 必要性・効果		
61	道路	生活関連	道路整備事業	大村嬉野線 (上岩屋)	嬉野市	嬉野町	岩屋川内	道路改良 L=1,100m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
62	道路	生活関連	道路整備事業	嬉野下宿塩田線 (火の口)	嬉野市	塩田町	五町田	歩道整備 L=180m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
63	道路	生活関連	道路整備事業	中野武雄線 (富岡)	武雄市	武雄町	富岡	道路改良 L=100m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
64	道路	生活関連	道路整備事業	嬉野山内線 (大走)	武雄市	山内町	大走	道路改良 L=700m	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
65	道路	生活関連	道路整備事業	国道498号(武雄～鹿島)	武雄市 鹿島市			現道拡張orバイパス	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。
66	道路	生活関連	道路整備事業	国道498号(北方第 二)	武雄市	北方町	大崎	バイパス	—	C	III	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため。